

審議会会議録

1	会議の名称	令和元年度第5回富津市子ども・子育て会議
2	開催日時	令和2年2月13日（木） 午前9時30分～午前10時25分
3	開催場所	富津市役所本庁舎5階 502会議室
4	審議等事項	第Ⅱ期富津市子ども・子育て支援事業計画（案）の パブリックコメント結果等について
5	出席者名	○出席委員 渡邊彩佳、石井愛子、岩濱真也、諏訪智子、君塚善 恵、オノミチ三由紀、畠山智宏、平野英男、大畑光 （河野委員代理） ○事務局 島津健康福祉部長、中山子育て支援課長、澤邊子育 て支援課長補佐、榎本子ども家庭係長、若松主任主 事、山口健康づくり課主任保健師
6	公開又は非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ 一部非公開 ・ 非公開
7	非公開の理由	
8	傍聴人数	0人（定員5人）
9	所管課	健康福祉部子育て支援課子ども家庭係 電話 0439-80-1256
10	会議録（発言の内容）	別紙のとおり

上記会議の経過を記載し、事実と相違ないことを証するためにここに署名する。

令和 年 月 日

会議録署名委員

会議録署名委員

令和元年度第5回富津市子ども・子育て会議 会議録

発言者	発言内容
事務局：若松主任 主事	<p>○資料の確認</p> <p>資料 1：第Ⅱ期富津市子ども・子育て支援事業計画（案）に係るパブリックコメント手続の実施結果等</p> <p>資料 2：第Ⅱ期富津市子ども・子育て支援事業計画（案）に係る修正内容等 新旧対照表</p> <p>参考資料：第Ⅱ期富津市子ども・子育て支援事業計画（案）</p> <p>机上配付：次第、委員名簿、座席表、富津市地域交流支援センターのパンフレット（案）</p> <p>その他：第Ⅱ期富津市子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査報告書</p> <p>○会議の成立</p> <p>本日は、15名の委員のうち、過半数の9名の委員が出席しており、富津市子ども・子育て会議設置条例第6条第2項の規定により会議が成立している旨を報告</p> <p>○会議の公開</p> <p>この会議は、富津市情報公開条例第23条の規定により公開傍聴人は0名</p> <p>○開会</p> <p>○議長について</p>
事務局：若松主任 主事	<p>富津市子ども・子育て会議設置条例第6条第1項において、会長が議長となることとなっているので、平野会長におかれては、ご挨拶を頂戴した後、議事の進行をお願いします。</p>
平野会長	<p>○会長挨拶</p> <p>本日も大変お忙しい中、令和元年度第5回目となる子ども・</p>

発言者	発言内容
平野会長	<p>子育て会議に出席をいただき、感謝申し上げます。今日の会議に関しては、いよいよ最終段階、仕上げに入っていくことになる。先日でパブリックコメントが済み、意見が挙がってきている。その意見あるいは市役所庁内においても意見があったわけであるが、それらを踏まえて、第Ⅱ期計画がよりよいものになるように、本日仕上げていくことになる。皆様方におかれては、言い残すことがないように、活発に質問やご意見等を述べていただいて、よい計画をつくっていきたいと思うので、よろしく願います。</p> <p>○会議録署名委員の指名 私のほか、本日は渡邊委員に願います。</p>
平野会長	<p>○審議 第Ⅱ期富津市子ども・子育て支援事業計画（案）のパブリックコメント結果等について、事務局の説明を求める。</p>
事務局：中山課長	<p>（資料1、資料2及び参考資料を使用） 第Ⅱ期富津市子ども・子育て支援事業計画（案）のパブリックコメント結果等について、資料1及び本日差替えをお願いした資料2に沿って説明する。</p> <p>まず、資料1をご覧いただきたい。</p> <p>昨年12月23日から令和2年1月22日まで、パブリックコメント手続として、広く市民に意見を募集したところ、3人の方から12件の意見提出があった。</p> <p>表は、左から、意見番号、意見の内容、計画（案）の該当ページ、意見に対する市の考え方、対応状況を、意見ごとにまとめている。なお、パブリックコメント手続に付した計画（案）を参考資料として配付したので、これからの説明の中で「計画</p>

発言者	発言内容
	<p>案〇〇ページ」と申し上げた際には、そちらの該当ページと資料を合わせてご覧いただきたい。</p> <p>まず、意見番号1は、計画案の54ページから62ページにかけて記載しているものである。「子どもの成長段階ごとの施策の記載について、具体的な内容が不足しているのが抽象的になっているように見え、実際にどのようなことを行うのか分からないので、具体的にしてはどうか」という意見に対し、計画案は子ども・子育ての事業を成長段階ごとに体系的に位置付けて記載し、総合的な展開を分かりやすく示したものであるため、計画案としては修正を行わないが、事業の内容についての周知が十分でないと考え、今後、それぞれの事業の具体的な内容を市のホームページやガイドブック等でお知らせするとしている。</p> <p>次に、意見番号2は、計画案の主に50ページから51ページの、放課後子供教室に関する意見で、「活動内容について、具体的な内容が分からない。また、どんな担当者が子どもを見守るのかをきちんと開示して実施してほしい」という内容である。</p> <p>これに対して、市では、計画案そのものの修正は行わないが、今後市のホームページ等に放課後子供教室の具体的な情報を掲載することとしている。</p> <p>次に、意見番号3も、放課後子供教室に関する意見で、「活動日・活動時間について、保護者が終業後でも迎えに行ける時間に活動時間を変更してほしい。また、利用可能な日数・時間を拡大してほしい」という内容である。</p> <p>これに対しては、放課後子供教室は家庭に代わって子どもが過ごす放課後児童クラブとはそもそもの設置目的が異なり、保護者の終業後の迎えを想定していないことから、計画案の修正は行わないものとする。しかし、今後、放課後子供教室と放課後児童クラブとの連携の中で、子どもが安心して過ごせる居場所づくりの参考としていきたい。</p>

発言者	発言内容
	<p>2ページをお開きいただきたい。</p> <p>意見番号4は、計画案44ページから45ページにかけての、(8)一時預かり事業に関係する意見で、「保育所における一時預かりの量の見込みについて、断られた件数(一時預かりを希望した人数)が含まれていないので、量の見込みを算定する前に、希望を断られた量をきちんと把握してほしい」という内容である。</p> <p>これに対しては、本計画案で示す量の見込みは、ニーズ調査の際に一時預かりの利用希望を持っている人の割合から算出したものであり、この見込みの中には、実際に断られた人も利用希望がある人として含まれていると解釈しているので、本計画案の修正は行わないものとする。なお、今後は、実際に希望どおりに利用できなかった件数も把握し、実情に即した受入れが可能となるよう、保育士の確保等に努めたいと考えている。</p> <p>次に、意見番号5も一時預かり事業に関する意見で、「公立保育所における一時預かりの予約について、現行の電話予約から、インターネット予約への変更を検討してほしい」という内容である。</p> <p>これに対し、市では、一時的とはいえ、お預かりするお子さんの様子を聞き取るため、現在電話での予約をお願いしているところである。予約方法に関しては、計画に記載すべき内容ではないと考えるので、計画案の修正は行わないが、今後、その他の予約方法を含め、検討していくものとする。</p> <p>意見番号6も一時預かり事業に関する意見で、一時預かりの費用開示に関することであり、「無償化の対象になっていることが認知されていないので、ホームページ内の情報表示を工夫してほしい」という意見である。</p> <p>この意見に対しては、計画案に記載すべき内容ではないことから修正は行わないが、指摘のとおり掲載情報が十分ではなか</p>

発言者	発言内容
	<p>ったので、直ちに市のホームページの情報を修正した。</p> <p>3ページをお開きいただきたい。</p> <p>意見番号7も一時預かり事業に関する意見で、「公立保育所の一時預かりの実施施設について、現行の全ての公立保育所での受入れから、富津・大佐和地区と天羽地区にそれぞれ1園ずつにして、そこに担当保育士を確保し、市内の一時預かりを保証してほしい」という内容である。</p> <p>この意見に対しては、身近なところで預けたいという声もあることから、今後、集約することの影響を検討していきたいと考えている。このため、直ちに計画案の修正は行わないものとする。</p> <p>次に、意見番号8は、計画案44ページの(7)や59ページ4-5に掲載しているファミリー・サポート・センター事業に関する意見で、「認知度が低く、利用したくても知らなかったという人が多いため、ファミリー・サポート・センターのホームページ等、誰でもいつでも詳細を見られるようにしてほしい。また、申込みや新規会員登録をインターネットからできるようにしてほしい」という内容である。</p> <p>これに対しては、計画案の修正は行わないが、市のホームページのファミリー・サポート・センターに関する掲載情報を修正するものとする。</p> <p>次に、意見番号9の意見もファミリー・サポート・センター事業に関する意見で、「利用料金について、無償化の対象となっていることの説明や開示が、ファミリー・サポート・センター事業のページにない」という内容である。</p> <p>これに対して、計画案の修正は行わないが、市のホームページの掲載情報を修正するものとする。</p> <p>4ページをご覧いただきたい。</p> <p>意見番号10は、計画案の57ページから58ページにかけて記載</p>

発言者	発言内容
	<p>している、学校教育の推進に関する意見で、「各校に図書館司書補助教諭を配置し、市全体で子どもの読解力をつけることに取り組んでほしい」という内容である。</p> <p>これに対して、市としては、計画案の修正は行わないが、子どもたちの読解力を向上させるためには読書を推進していくことが大切であると考えるので、学校図書館補助員等の配置について、今後も検討することとしている。</p> <p>次に、意見番号11は、同じく57ページから58ページにかけて記載している、学校教育の推進に関する意見で、「市全体で計画的・継続的に学校図書館図書の整備をしてほしい」という意見である。</p> <p>これに対しては、計画案の修正は行わないが、学校図書室図書の購入等、事業の参考とするものとする。</p> <p>最後に、意見番号12は、「第Ⅱ期富津市子ども・子育て支援事業計画（案）について、賛同する」という意見であった。</p> <p>以上が、パブリックコメント手続で提出された意見とそれに対する市の考え方である。</p> <p>次に、本日配付した資料2をご覧ください。</p> <p>資料2は、パブリックコメント手続とは別に、第4回会議以後に庁内照会等により修正した箇所を取りまとめたものである。</p> <p>表は、左から、番号、計画（案）の該当箇所、「旧」の欄は修正前の表記、「新」の欄は修正後の表記を記載している。</p> <p>番号1は、計画案1ページ、第1章の1を「計画策定の趣旨」という見出しにしていたものであるが、内容に対して見出しが適当ではないと考え、「計画策定の背景」に修正するものである。</p> <p>次に、番号2は、計画案5ページ、(3)の年齢別人口の推移のグラフのうち、平成22年の合計を足し上げると100%ではな</p>

発言者	発言内容
	<p>く99.9%となっているが、これが国勢調査で公表されている15～64歳の比率と異なっていたので、15～64歳の「60.4」を「60.5」に修正するものとする。</p> <p>次に、番号3は、計画案30ページの「(7)虐待への認識の不足の2つ目の「・」について、「知らない」人が約8%である一方、92%もの人は知っているのに、あえて課題にする必要があるのか」という意見があったことに関し、市では、通告先を知っている人知らないの人の比率の大小が問題になるのではなく、日頃から虐待問題への理解を促し、実際に行動につながることを重要であると考えているので、2つ目の「・」の記載全体を「新」の欄のとおり、「虐待を見聞きした場合の通告先については、約9割の人が「知っている」と答えていても、実際に虐待に当たる行為を見聞きしても通報を躊躇するケースが多くあり、日頃から虐待問題への理解を促すことが必要です」と修正するものとする。</p> <p>次に、番号4は、保育士人材の確保について、課題として計画で触れる必要があるのではないかとこの意見があったので、計画案49ページ4－5第1段落の最後「……質の高い保育の提供に努めます。」の次に、「新」の欄のとおり、「さらに、保護者の就労形態が多様化していることを踏まえ、保育を受ける子どもが安全かつ安心して過ごすことができるよう、多様な保育サービスを提供できる保育士人材を確保し、体制の充実と質の向上に取り組めます」という一文を加えるものとする。</p> <p>次に、番号5は、「放課後児童クラブに係る連絡協議会についての記載を」という意見があり、計画案50ページの(2)中の表のNo. 1の実施内容欄を、「新」の欄のとおり、「総合的に放課後の居場所づくりを推進するため、運営者、保護者及び行政が協議する場を設けます。また、児童クラブの支援員と子供教室の支援員が定期的に情報交換を行い、児童の状況等を共有</p>

発言者	発言内容
<p>平野会長</p> <p>君塚委員</p>	<p>します」と追加し、修正するものとする。</p> <p>次に、番号6は、学童期の子どもの放課後の居場所づくりに関することで、「放課後の子どもへの取組が2つあり、分かりにくい」という意見があったので、51ページにそれぞれの違いをまとめた表を追加、修正したものである。</p> <p>最後に、番号7は、計画案51ページ4-7(1)児童虐待防止対策の充実の項目に、既に事業を実施している「子育て世代包括支援センター」の記載が漏れていたため、52ページ上から2行目「妊婦の早期の把握」の次に「子育て世代包括支援センター事業の推進」を追加し、修正するものとする。</p> <p>以上が、第4回会議以後に修正した箇所の説明となる。</p> <p>なお、今説明した内容の修正、追加のほか、誤字や脱字、レイアウトの調整等、形式的な修正についても合わせて行っているが、そちらについては詳細説明を省略させていただく。</p> <p>以上で、議題についての説明を終えるが、資料1のとおり市としてはパブリックコメントの意見に対する計画案の修正は行わないとしたこと及び資料2で説明した追加や修正を行ったことへのご了承をいただき、これらをもって第Ⅱ期富津市子ども・子育て支援事業計画の最終案としてよろしいか、委員の皆様にご審議くださるようお願いする。</p> <p>○意見・質疑</p> <p>委員の皆さんからご意見やご質問があれば受けさせていただきたいと思うが、いかがか。</p> <p>どの箇所も良く修正されていると思う。「質の高い保育の提供に努めます」とか「保育士人材を良くしていきます」というように修正されていて、それは全くそのとおりで、おっしゃることに何の不满もない。</p>

発言者	発言内容
	<p>しかし、現状について言えば、本当に人材がおらず、ただ「良い人を採用します」と述べるだけで済まされることではない。今、学生さんが、都市部であるとか給料がよいとか、そういう理由で、横浜や東京に流れてしまっていて、こちらに来る人材が本当にいない。状況は幼稚園も同じである。</p> <p>たしかに、人材を確保するという一文だけで集約することも間違いではないが、重要なことは、どうやって、どういう手立てを講じて人材を確保するかということである。要するに、人材の確保というのは、1年やそこらでできることではなく、やはり、学生さんの気持ちであるとか力量であるとか、スキルアップを図りながら良い人材というのはできるので、ただ一文で述べるだけではなく、具体的にどういうところから始めるのか、例えば、大学さんと色々なことを話し合ったり、また、小中学校、高校で、「保育っていいんですよ」とか「未来の人材を育てる大切な仕事なんですよ」とか、そういう教育をしておかないといけないと思う。それを、先ほど言った一文だけではなくて、具体的にどういうことをやっていくかということを示していかないと、ただ述べるだけで終わってしまうと思われる。</p> <p>ただ、それを言うてしまうと、どれも全部そうになってしまうと思う。例えば、病後児保育の話が出てきたが、少しホームページを調べてみても、「ここに問い合わせてください」と書いてあるだけである。しかし、「問い合わせでいろいろ長くなるといけない」「結局どういうことなのかと調べても、実際なかなか分からない」「調べているうちに時間が経っていくが、自分は勤めに行かなければならない」等、情報を利用する人側にしてみれば、一文だけではすぐに分からないことが多い。</p> <p>それ一つを取ってみても、ただ述べるだけではなくて、どこ</p>

発言者	発言内容
事務局：中山課長	<p>から始めようかということも同時に考えていかないと、紙に起こしただけになってしまうので、保育の仕事に携わる私としても、人材の確保については今すぐに取り組んでほしいと思う。計画書で文章を作るとなると先ほどの一文にとどまるとは思いますが、人材が他に流れないようにするにはどうしていくのがよいかということをも具体的に考えることも地道にやっていく必要があるかなと思ったので、ぜひお願いしたい。</p> <p>ご意見をいただき、感謝する。</p> <p>人材確保という代表例でご指摘いただいたが、人材確保については、公立保育所、私立保育園、私立幼稚園のいずれも同じように苦勞している点である。</p> <p>実際養成校への訪問等を行っており、そういった所で学生さんの声を直に聞く機会も設けているので、実際に学生さんがどういう思いで保育士になるのか、あるいはならないのかといったようなことを把握して、今後、魅力的な富津市での保育現場、それは給料面でのこともあるかもしれないし、保育環境ということも大きいとは思いますが、そういったものを全体的に検討して、実際の策を講じていきたいと思う。</p> <p>そういった取り組みも、先ほどの病後児のお話にもあったが、市がどういうことに取り組んでいるのかということをもっと分かりやすく、ホームページ等を活用して情報発信を行っていきたいと思う。</p>
畠山委員	<p>君塚委員のお話を聞き、私は養成校で働いているので、実態を知っていただくために、発言をさせていただきたいと思う。</p> <p>やはり、保育士の勤める環境があまり良くないというような報道がよくされていて、例えば低賃金で長時間労働、いわゆるブラックではないかというような報道もあり、保育士を目指す</p>

発言者	発言内容
渡邊委員	<p>人材そのものが減ってきている。それに加えて、18歳人口も減ってきていて、相対的に人材が減っているという実態がある。そのことを受けて、私の勤めている学校でも、例えば定員を120人から100人に減らしても、それでも志願者が100人に満たないという状況がある。千葉県内でも色々な養成校があるが、その段階でまず保育士志望の人を取り合っているような状況である。しかし、取り合っている場合ではなくて、「保育の仕事って魅力的なんだよ」ということを学生さんに伝え、県内あるいは房総地域で人材を育てていくような、そういう大きな視点がないと、本当に養成校が共倒れになる状況になっている。また、現在、養成した学生が都市部に流れているという話があった。それに関して、正確な数字ではなくて私の皮膚感覚ではあるが、例えば、私のゼミには10人のゼミ生がいたが、そのうち3人が都市部に流れた。それはやはり、住宅補助があって、あるいは手当があってということで、都内や千葉市内の近くに就職を求めたものであった。学生が元々都会志向であったり、都会への憧れもあると思うが、やはり給料の面でそちらを選ぶといった時に、私たちも本来地域に根ざしていきたいし地域に密着していきたいが、そこで給料面を理由に出されると、なかなか引き止めることもできない。そのため、財政的な厳しさはあると思うが、地元で保育士として就職できて働き続けられるような補助というか、そういうのも検討していただけたらありがたいなと思うし、それを武器にして、「富津市でもこういうことをしてるからね」ということで、保育士として就職することを学生に勧めることもできるかなと思う。</p> <p>先ほどの話に絡めて、私の保護者としての意見として、1つお話をさせてもらいたいと思った点がある。</p> <p>まず、保育士さんにまつわる環境が良くなるということは、</p>

発言者	発言内容
	<p> すごく重要だなと思う。直接関係のある話になるかはまた別であると思う部分はあるが、保育士さん自身の指導の質も上がっていくのではないかなということを感じるところもある。それは、保育士さんに対して何か不満があるとかそういった話ではないが、私の家であった出来事の1つとして、自分の子どもから「先生に叱られた」という話を聞いて「どうして怒られたの？」と聞いた時に、「分からない」と子どもが答えたことがあった。他にも、お遊戯会か何かの練習をしている時にものすごく怒られたと聞いたことがあった。子どもから聞いている話なので、その話が100%本当にあったことなのかどうか、事実なのかどうかも分からないが、子どもの印象として、「なぜ怒られたのか分からない」とか「〇〇の練習をしている時にものすごく怒られた」みたいな話を保護者の目線で聞いていると、「この園大丈夫かな」と思ってしまうし、不安を感じてしまう。結局、子どもから聞いた話だから先生に何うわけにもいかないし、先生とコミュニケーションを取れば一番よいが、伺いにくい内容であったり、例えば、「『先生にすごく怒られたけど、なぜ怒られたか分からない』と子どもから聞いたんですけど、どうなんですかね」と先生に言うと、先生側も困ってしまうだろうなとも思うところである。そういう小さいトラブルがいくつも重なってくると、「この保育園大丈夫かな」と保護者としては考えてしまう。結局「この保育園大丈夫かな、不安だな」と思った時に私たちが考えることは、転園、違う園に入れたり、若しくは引越しである。人によってはそういうことに発展してしまうことがあるので、園の中の保育士さんの環境の改善が、その保育士さんの持っている感覚だとか指導に影響しているのであれば、そして、その保育士さんの環境の改善が指導の質の改善につながるのであれば、是非そうしていただきたい。それが結果的に保護者の安心につながるので、1つの意見として </p>

発言者	発言内容
	<p>というお話にとどまってしまうが、そういうのも是非検討していただけたらありがたいなということで、一つ意見を申し上げた次第である。</p>
事務局：中山課長	<p>ちなみにそれは、保護者からすると、保育士に声をかけにくい雰囲気なのか。</p>
渡邊委員	<p>雰囲気がというよりも、「子どもから〇〇と聞いたんだけど、どうなのでしょう」と先生が言われたら、自分がモンスターペアレントに見られそうであるという私の中のイメージがある。</p>
事務局：中山課長	<p>実際に保育所の所長がいるが、いかがか。</p>
諏訪委員	<p>直接言っただけであれば説明もできるし、「こんな状態です」と説明できれば誤解を生じないと思うので、声に出された方がよいと思う。そうしないと、お母さんは悶々としてしまうし、考えが沈んでしまうと思われる。意外に話してみたら、「そういうことだったんですか」と納得できることもたくさんあると思うので、それは言った方がよいと思う。</p>
渡邊委員	<p>今は送迎をお願いしていて、大体話してくれるのは自分の上の子どもである。来年4月になると小学校に上がるので、残り数ヶ月だからみたいな感覚もある。また、今日はコミュニケーションを取れる時間があったので「今度そういうことがあったら言ってみようかな」と今思ったが、その時実際は、「それを言うことによって自分の子どもに影響があったらどうしよう」ということを考えてしまう、勘ぐってしまうのである。コミュニケーションがないし、送迎をお願いしている先生がうちの子どもの担当ではなかったりするので、結局又聞きみたいになっ</p>

発言者	発言内容
	<p>てしまって、「なんか〇〇ということを書いていたんだよね」みたいなことを言って「あーそうなんだ」で終わってしまったりとか、真剣味をもってちゃんとした意見を聞ける状況に今までなかなかもってくることができなかつたので、それは私の今後の課題というか、今後してみようかなと思っていることで、今度「〇〇と子どもが書いてたんですけど、どうなんですか？」というようなことを聞いてみようかなとは今思っているが、今まではタイミングが掴めなかつたというと軽く聞こえてしまいが、色々と勘ぐってしまつて言えなかつたという部分はあつた。</p>
平野会長	<p>他にはいかがか。</p>
オノミチ副会長	<p>ここまで計画についてパブリックコメントを経て、こういう形にさせていただいて感謝している。今日は、本当に皆さんの声が聞ける状況がとてもありがたいというのが一つと、今置かれているそれぞれのお立場でのお話ということころの中で、例えば行政ができること、現場の保育士さんや先生たちができることを、うまく行政が先生と一緒にあって皆でつくりあげていくというような環境が、これからこの市でできていくといいかなと思う。今回パブリックコメントをしてくださつた方たちは本当にありがたいことであるが、今後は、そこにどのように返していくのか、あるいは、これから計画を立てた上でどうしていくかということが、本当に大事になってくる時期なのかなと思つていて、それには何をしていけばよいのかと考へた時に、今例えば渡邊委員がおっしゃつたように、また、お母さんである渡邊委員の声に先生である諏訪委員が答えてくださつたように、パブリックコメントの中にはインターネット上やパソコン上でのことも挙がつてはいるが、やはり人間は顔が見える関</p>

発言者	発言内容
平野会長	<p>係というのがとても大切で、これが電話でお答えしてくださったらまた違うように受け取られると思うが、保育所長である諏訪委員の方からお話しいただいたことで、お母さんの方に少し勇気を持ってやってみようかなという気持ちが生まれるものだと思うので、現場の声だったり行政の声だったりというところを折り合っているような環境づくりを、これからしていければいいかなと思う。あと、市にいるそれぞれ一人ひとりのお母さんたちの意見を大事にしていけたらと思う。個人でできることは限られてしまうが、どういうことができるかということを考えていきたいと思う。</p> <p>今何名かの委員の皆さんから発言があったが、実際保育や教育の現場で起こっている色々な問題があると思う。家庭の中で抱えている課題であるとか悩みであるとか、そのようなものがあると思うが、この計画に関しては、あくまでもそのようなそれぞれが抱えている問題を今後どうやって解決していくのかという部分の考え方の基本、スタートラインあるいはベースとなるものである。まだまだ解決すべき問題は尽きないと思うが、そういうものもベースにさせていただきたいと思っている。</p> <p>なお、皆さんからこれ以上意見や質問がないようであれば、最終的に採決を取らせていただいて、承諾をいただければ、先ほど事務局が示した市の考え方や修正を行って、第Ⅱ期富津市子ども・子育て支援事業計画の最終案として確定することになるので、採決を行う前に、言い残すことがないようにさせていただきたいと思っているが、いかがか。</p> <p>(更なる意見等、特になし)</p>

発言者	発言内容
平野会長	<p>○採決</p> <p>それでは、先ほど示した事務局案をもって、第Ⅱ期富津市子ども・子育て支援事業計画の最終案として確定することに、賛成の方の挙手を求める。</p> <p>(委員全員が挙手)</p>
平野会長	<p>挙手全員である。よって、この度示された修正を行った後に、第Ⅱ期富津市子ども・子育て支援事業計画の最終案として確定するものとする。</p>
平野会長	<p>○その他</p> <p>議題に関しては以上になるが、皆さんから他に何かご質問や再度改めて確認したいこと等あったら、発言していただいても構わないが、いかがか。</p> <p>(特になし)</p>
平野会長	<p>事務局から何かある。</p>
事務局：中山課長	<p>第Ⅱ期計画に関する今度のスケジュールについて申し上げます。</p> <p>先ほど承認をいただいた修正等を行った後、内部手続として市長の決裁を経て、第Ⅱ期計画として決定するものとする。その後、製本したものを皆様に送付させていただくので、ご承知おきいただきたい。</p> <p>続いて、子ども・子育て会議委員の更新について申し上げます。</p> <p>前回の会議において、条例上任期が2年間と定められているので、令和3年11月13日までとして委員を再委嘱させていただ</p>

発言者	発言内容
事務局：島津部長	<p>いたが、第1回会議でお知らせのとおり、第Ⅱ期計画を決定するまで、今年度末までということで、皆様からご了承をいただいていたところである。</p> <p>このような経緯を踏まえ、令和2年度への年度が切り替わるタイミングをもって、委員を更新させていただきたいと考えている。形式的な話で大変恐縮であるが、委嘱期間中の更新となることから、皆様から辞任届を提出していただきたく思う。お手数をお掛けするが、第Ⅱ期計画書の配付に合わせて辞任届の様式を改めて送付させていただくので、ご理解いただき、ご協力をお願いします。</p> <p>次に、富津市地域交流支援センターのオープニングイベントについて申し上げます。</p> <p>4月1日の開設に先立ち、3月29日の日曜日、午前9時から、富津市地域交流支援センターのオープニングイベントを開催する。式典の詳細は後日改めて案内させていただくが、委員の皆様におかれては、式典にご臨席賜るようお願い申し上げます。</p> <p>センターの概要については、本日お手元にパンフレットの案を配付したので、そちらをご覧ください。なお、センターの愛称である「カナリエ」であるが、この「カナリエ」は、センターを多くの人に親しんでいただきたいという思いから、保育所や幼稚園の保護者さん、園児さんに愛称を募集して決定したものである。</p> <p>おわりに、本日が今年度最後の会議になるので、健康福祉部長の島津より、お礼のご挨拶を申し上げます。</p> <p>閉会にあたり、一言ご挨拶申し上げます。</p> <p>平野会長をはじめ、委員の皆様には、大変ご多用の中、今年度は5回にもわたり熱心にご審議を賜り、厚く御礼を申し上げます。皆様の様々なお立場からご意見やご提言をいただき、今年</p>

発言者	発言内容
	<p>度末をもって第Ⅱ期計画を策定することができる。来年度は、市長が掲げている「子育て日本一」の実現に向けて、この第Ⅱ期計画に基づき事業を具体的に実施していくこととなる。皆様には、それぞれのお立場から、今後ともご指導、ご助言を賜るようお願い申し上げ、簡単ではあるが、御礼の挨拶とさせていただきます。</p>
平野会長	<p>事務局から他に何かあるか。</p> <p>(特になし)</p>
平野会長	<p>先ほどの事務局の説明でもあったように、大変残念ではあるが、この委員の皆さんで顔を合わせるのはこれで最後になってしまう。せっかくなので、最後に、オノミチ副会長から順に、一言ずつ簡単で構わないので、挨拶を頂戴できればと思う。</p>
オノミチ副会長	<p>このような席から、皆様とこのような機会をいただき、本当に感謝申し上げます。会議に出させていただく度に、私はここにいていいのかという感覚にもずっととらわれていたが、富津市の子ども・子育てに関して、これから第Ⅱ期計画が始まるに当たり、このような計画を皆さんと一緒につくらせていただいたことに本当に感謝している。これから富津市の子ども・子育てがどのような方向に向かっていくかというところを大切にしていきたいと思うので、今後ともよろしく願いしたい。</p>
渡邊委員	<p>お話を頂いてこのような席に出させていただき、とても貴重な意見や機会を頂いたと思っており、私自身も勉強になることもたくさんあった。そして、「こういったことを思ったからこういったことをちゃんと伝えよう」と、コミュニケーションの</p>

発言者	発言内容
石井委員	<p>場としても活用させていただいたので、とてもよい経験をさせていただいたと思っている。また、今後も子どものことに関わりのある方もいらっしゃるので、これからもぜひよろしくお願いしたい。</p> <p>私は、君塚委員からお声掛けいただいた時に、まさか自分がこのような場に参加させていただくことになるなんて考えたこともなく、すごく貴重な経験をさせていただいたと思っている。今まで市のアンケートや何かが届いても、何だろうなと思いつながら答えていたものにも、今後は一つひとつ関心を持って色々なことに参加や対応をしていけると思う。</p>
岩濱委員	<p>事業者の代表という形で参画させていただき感謝している。前任から引き継いで会議に出させていただいたが、漠然とした子育てや将来に対しての不安が住民にも行政にもあるという状況の中で、国の法律であったり、教育・保育の無償化であったり、色々と変わってきている部分もある。</p> <p>私が管理しているイオンモールには600人ぐらい従業員がいるが、そのうち小さいお子さんをお持ちの方というのが非常に少ない。どちらかというと、お子さんが小学校に上がってからパートに出てこられる方が多いという実態もあるので、その中で知らないことというのがたくさんある。そのため、制度や行政の事業において、ぜひ今後も引き続き、官民連携して繋がるようにしていきたいと思うので、今後ともよろしくお願いしたい。</p>
諏訪委員	<p>この会議に参加させていただいて、とても貴重な体験をさせていただいたと思う。自分の所の公立保育所だけではなくて、一般市民の方や他の保育園・幼稚園の保護者の方、先生方、色々</p>

発言者	発言内容
大畑委員代理	<p>な企業の方の話を直接伺えて、学ぶことが多くあったし、これからもそれを土台に色々な所と繋がっていけるようなことができればいいなと思いながら、今日は色々なご意見を聞かせていただいた。例えば、清和大学短期大学部との関係でいえば、今まで学生さんに向けて色々と講座をやらせていただく機会があったが、昨年担当者がお帰りになり、残念ながら今年度はできなかったが、富津市の公立保育所だけではなく、これから保育士になる人や幼稚園教諭になる人がもっと魅力を感じて、それらの職業を選んでいってほしいなと思うので、そのようなところで色々な人と繋がることのできるような土台づくりができたらいいなと感じた。</p> <p>代理で参加させていただいたが、ここにおられる委員の皆様には大変お世話になっているのだなと思った。教育センター、教育委員会としては、小中学校が主な所管ではあるが、子育て支援課とも皆様とも連携をしていかなければならないと思うし、先ほど議題に挙がっていた保育士の確保という部分においては、小中学校のキャリア教育において、富津市が好きで富津市において就労したいという子ども達を育てていかなければいけないなと感じたところである。また今後ともよろしく願います。</p>
畠山委員	<p>今年度はあまり会議に参加できる機会が少なく、申し訳なく思っていたところである。養成校に所属する者として、厳しい状況にあると思っているが、本当に保育士の仕事の魅力を知ってもらって、それで保育士になる人材をしっかりと育てて、そして、それが地域にも繋がって行って、色々と現場の方と繋がりながら貢献できていけたらと思っている。今後ともよろしく願います。</p>

発言者	発言内容
君塚委員	<p>私も、この子ども・子育て会議に参加させていただいて、色々な経験をしてきたが、療育の方の会議にも出させていただいて、そちらの植田先生が、「この子、富津市でよかったね」と時々おっしゃる。私たちのように、こういう会議に出ている者にとっては、富津市は手厚いとすごく感じるが、それを皆さんに分かっていただき、富津市はよいところだということを広めていきたいと思う。</p> <p>また、会議が終わる時ではあるが、この「カナリエ」のパンフレットを見たときに、病後児保育室があるということであるが、先ほど言ったが、なぜこの病後児保育を調べたかという、うちの幼稚園に病院内施設から出てきたが普通の所で受け入れられないお子さんがいて、その子が保育園に入れなくてうちの幼稚園で預かったという経緯があった。病後児というのは、大病をした子が治ってきたが病院内にいるほどではなくて一般の子ども達と少し触れ合えるような子をいうと私は思っていた。今年は、インフルエンザの蔓延で、お母さんが「うちの子は治ったが預かってくれますか」という電話が何件もあり、いつもは全部休園にすると預かり保育だけを開所して、お母さんが勤めているお子さんたちを預かることをしていたが、今年は蔓延がそれほどではなくて、学級閉鎖という形で単独で何クラスか閉鎖した。そうすると、完全に治った子たちを預かってしまうと学級閉鎖にした意味がないので、お母さんには「なんとかお家でお子さんを見てください」と言って、元気なお子さんを預かってしまうと学級閉鎖にした意味がないのでということをお願いした経緯がある。病後児保育室は場所も広そうで、今は新型コロナウイルスも流行っていることもあり、感染症が治りきっていない疑いがある子や、保護者自身が感染症になって子どもが見られないとか、そういう子も預かってもらえ</p>

発言者	発言内容
平野会長	<p>るのだろうかと思った。また、私が言いたいことは、病後児の定義も含めてホームページやこういうパンフレットに掲載すると、調べた時にわかりやすいかなと思ったということである。パンフレットを少し見ただけでもすごくワクワクするので、ぜひ行ってみたいと思う。</p> <p>私に関しても、議会の方から縁があって代表でこちらの会議に参加させていただき、なぜか会長職を務めさせていただいた。これだけ色々な立場の皆さんの、子ども・子育てに関する意見というのも中々聞く機会がないが、長い期間を通して、色々皆さんから考えを聞かさせていただいて、非常に参考になり、これからの活動の参考にさせていただき、活かして参りたいと思ったので、これからも引き続きご指導いただければ幸いに思う。</p>
平野会長	<p>○閉会</p> <p>それでは、本日の日程はすべて終了である。</p> <p>以上をもって、令和元年度第5回富津市子ども・子育て会議を閉会とする。</p> <p>委員の皆様におかれては、長い期間にわたりご協力をいただき、心から感謝申し上げる次第である。</p> <p>午前10時25分 閉会</p>